MAKING THE IMAGE INTELLIGENT

DIGITAL MEDIA PROFESSIONALS

2026年3月期　第3四半期

決算補足説明資料

～2030年3月期売上高80億円に向けた変革期、戦略投資から回収へ～

株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル

2026年2月12日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

目次

会社概要 …… 3
DMPのPurpose …… 4
中期ビジョン（三位一体の成長戦略） …… 5
成長加速に向けた戦略的進捗 …… 6
2026年3月期 第3四半期決算ハイライト
業績ハイライト …… 7
損益計算書 …… 8
事業別／分野別売上高 …… 9
貸借対照表 …… 10
2026年3月期 通期業績予想 …… 11

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

会社概要

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウエアからハードウエア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル（DMP）
設立	2002年7月 （2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行）
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	60名（2025年4月1日現在）
特許数	35件

IPコアライセンス事業

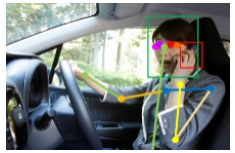
・AI/GPU IPコアライセンス
・AIソフトウエアライセンス

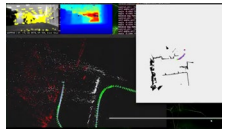
製品事業

・アミューズメント市場向け画像処理半導体
・エッジAI半導体
・協働ロボット向けビジョンシステム
・FA製品（AMR本体/コンポーネント）
・モジュール

プロフェッショナルサービス事業

・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウエア受託開発
・FPGA/ボード受託開発
・ロボティクス・セーフティに係る顧客製品・サービス開発サポート





Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

Making the Image Intelligent

画像を知能化する

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす
革新的な製品とサービスを創造する

To develop cutting-edge products and services that leverage image intelligence to address practical challenges and deliver value to our stakeholders.

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

中期ビジョン（三位一体の成長戦略）

成長分野への展開：エッジAI半導体事業

コア事業で培った強み、ノウハウを活かした、
新たな分野での半導体ビジネスを展開
モビリティ、スマートファクトリー、ドローン、
スマートカメラなどの高成長市場で採用拡大

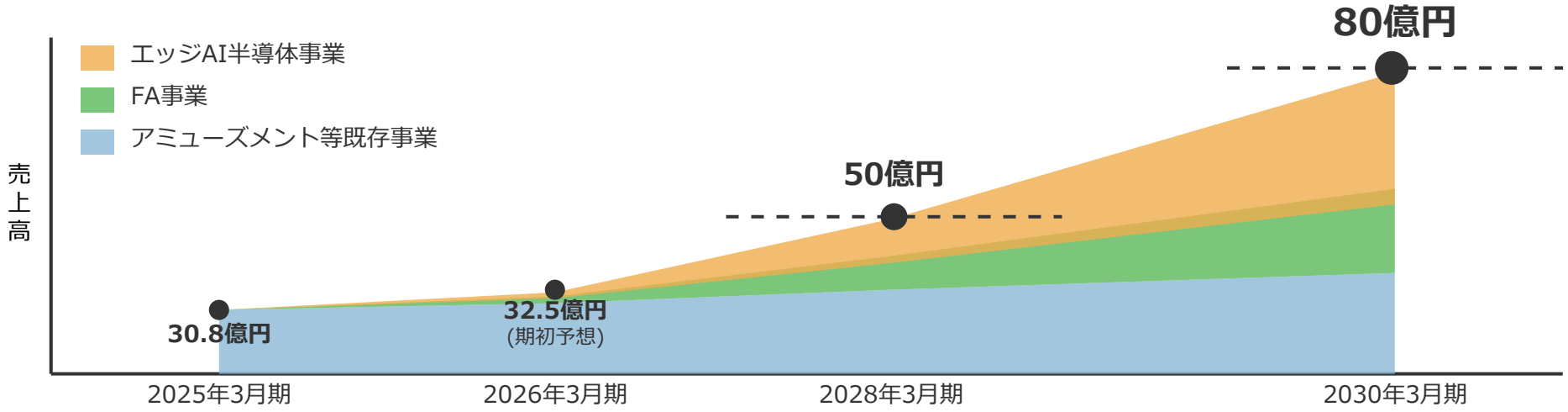
中長期的な企業価値向上

新規事業機会の獲得：FA事業

当社の更なる成長実現のため、新事業領域に取り組む
Cambrian Vison Systemで築いた業界ネットワークを
生かし、ロボティクス、ファクトリーオートメーション、
物流自動化のさらなるスマート化により、日本の社会
課題解決に貢献

コア事業の更なる成長：アミューズメント事業

周辺ビジネスの取り込みによる付加価値増大とコスト低減などによる利益の強化



Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

成長加速に向けた戦略的進捗

中期的な2本の成長エンジンの収益化基盤構築に向け、戦略的投資・リソース傾注

エッジAI半導体事業

- 次世代エッジAI半導体「Di1」をを頂点とし、ハードウエアとソフトウエアの両面からお客様のAI開発を支援する「Di1」エッジAIプラットフォームを構築

Di1 Cam

Di1 Development Kit

- 2026年3月期第4四半期に量産出荷予定
- 「Di1」と台湾Aetina社のNVIDIA製品を組み合わせたハイブリッドAIソリューションを提供
- 監視カメラ、ドローン、各種モビリティ等のアプリケーション市場における顧客評価が進展
- GTM戦略の一環として、インド市場における拡販を開始。エコシステムを活用した、台湾、中国での販促活動を開始

FA事業

- 2025年4月に事業開始
- 自律走行ロボット（AMR）メーカー、エンドユーザーにAMR本体、AMR向けコンポーネントを納入するなど、初年度は想定以上の実績見込み
- 2025年12月の国際ロボット展(iREX)出展
  来年度以降のビジネスにつながる有効リードを多数獲得

AMR本体

コントローラー

LiDAR

モーター＋ドライバー

フリートマネジメントソフトウエア

ロボティクス・セーフティ分野

- LLM(大規模言語モデル)×ビジョンAIで映像の「文脈」を理解する行動認識AIプラットフォーム「Vision-LLM Insight」の本格提供を開始。公共施設・公園管理、商業施設、建設・物流分野、交通分野等での潜在リスクの予兆を検知
  公共施設におけるスケートボーダー検知システムの実地運用開始

- 半導体製造設備向けの物体検出システムに関わるプロフェッショナルサービスを提供中
  PoCから将来的な量産フェーズ移行をにらむ

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

2026年3月期 第3四半期 - 業績ハイライト

● 将来成長に向けた戦略投資の完遂と新たな成長ドライバーの伸長

- エッジAI半導体「Di1」の開発及び量産準備が完了し、顧客評価フェーズへ移行
- ロボティクス・セーフティ分野（FA事業含む）は伸長し、事業ポートフォリオの多角化が進展
- アミューズメント市場は保通協検定適合率の低調により一時的な調整局面にあるものの、顧客有力タイトルの適合により、主力製品「RS1」の出荷は3Q以降回復基調に転じる

全社	事業別売上高	分野別売上高
売上高 **1,657**百万円 （YoY※ △25%）	IPコアライセンス **82**百万円 （YoY +11%）	ロボティクス・セーフティ **200**百万円 （YoY +38%）
経常利益 **△387**百万円 （前年同期 121百万円 ）	製品 **1,529**百万円 （YoY △26%）	アミューズメント **1,365**百万円 （YoY △32%）
	プロフェッショナルサービス **44**百万円 （YoY △42%）	その他 **91**百万円 （YoY +87%）

※ YoY (Year on Year)：前年同期比

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

2026年3月期 第3四半期決算ハイライト - 損益計算書

「Di1」の戦略投資(3億円)を実行。アミューズメント市場の一時的調整影響も財務健全性維持

（単位：百万円）	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	増減額
売上高	2,206	**1,657**	**△549**
営業利益	121	**△399**	**△521**
経常利益	121	**△387**	**△509**
親会社株主に帰属する四半期純利益	100	**△409**	**△509**

- **戦略的投資の実行**：エッジAI半導体「Di1」の開発費300百万円を計画通り支出（販管費計上）
  当投資は一過性であり、来期以降の成長基盤を確立
- **一時的要因の影響**：アミューズメント市場の調整（検定適合率低調）を受け、画像処理半導体「RS1」
  出荷が抑制され減収も、3Q以降は回復基調
- **利益面**：戦略投資負担と一時的な売上減により前年同期比減益も、投資フェーズのピークは越える

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

2026年3月期 第3四半期決算ハイライト - 事業／分野別売上高

●事業別売上高

IPコアライセンス事業　82百万円　前年同期　74百万円

- ディジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、ロボティクス・セーフティ分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上

製品事業　1,529百万円　前年同期 2,055百万円

- RS1の量産出荷、Cambrianビジョンシステム、ドローン向けカメラモジュール、FA製品等の売上を計上
- アミューズメント市場の一時的調整により、RS1の量産出荷は前年同期比32%減。3Q以降は回復傾向

ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙｻｰﾋﾞｽ事業　44百万円　前年同期　76百万円

- 半導体製造設備、安全運転支援、AMR向け受託開発サービス収入等を計上

●分野別売上高

ロボティクス・セーフティ分野※　200百万円　前年同期　144百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、メンテナンスサポート収入、Cambrianビジョンシステム、ドローン向けカメラモジュール、FA製品等の製品売上、並びに半導体製造設備、安全運転支援、AMR向けプロフェッショナルサービス売上を計上

アミューズメント分野　1,365百万円　前年同期2,012百万円

- 主にRS1の量産出荷売上を計上

その他分野　91百万円　前年同期　48百万円

- ディジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、メンテナンスサポート収入等を計上

※ 当分野は、2025年3月期までは「セーフティ分野」、「ロボティクス分野」に分けていたが、協働ロボットやAMRを例に見てもロボティクス技術の進化と社会実装が進むほど、人・モノとの接触やそのリスクを検知するセーフティ技術が重要となっていることに加え、当社の事業方向性も踏まえ、2026年3月期より両分野を統合し、「ロボティクス・セーフティ分野」と呼称することとした

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

自己資本比率は86.3%と高水準を維持

～戦略的投資を継続可能な強固な財務基盤～

（単位：百万円）	2025年3月末	2025年12月末	増減額	主な増減要因
流動資産	3,297	2,662	△635	現金及び預金 △770　有価証券 △200 棚卸資産 +187
固定資産	794	1,047	+252	投資有価証券 +179　無形固定資産 +36
資産合計	**4,092**	**3,709**	**△382**	
流動負債	461	482	+20	買掛金 +99　その他 △59
固定負債	19	25	+6	
負債合計	480	507	+26	
純資産合計	**3,611**	**3,202**	**△409**	利益剰余金 △409
負債・純資産合計	**4,092**	**3,709**	**△382**	

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

5月13日公表の通期業績予想を修正

通期予想は修正するものの、4Q増収・黒字化で成長軌道へ回帰

（単位：百万円）	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 3Q実績	2026年3月期通期業績		
			前回予想	今回予想	増減額
売上高	3,077	1,657	3,250	**2,500**	**△750**
営業利益	265	△399	20	**△275**	**△295**
経常利益	271	△387	25	**△260**	**△285**
親会社株主に帰属する当期純利益	157	△409	20	**△300**	**△320**

- **攻めの投資**：2026年3月期は、中長期成長に向けた戦略的投資期間として計画を遂行
- **回復の兆し**：パチスロ市場の検定適合率低調により「RS1」出荷が一時停滞したが、3Qに入り最終顧客の有力タイトルが複数適合。これにより出荷数は底打ちし、増加トレンドへ回帰
- **修正の背景**：アミューズメント市場と「RS1」量産出荷の回復ペースが期初想定を下回っており、通期業績予想を修正
- **4Qの収益構造**：4Q（1～3月）は、製品事業の増収と半導体IPイニシャルライセンス収入による売上高増に加え、「Di1」開発費（戦略投資）の剥落による販管費減少が寄与し、四半期ベースでの黒字転換を見込む
- **中長期戦略は不変**：アミューズメント周辺ビジネスの取込みとエッジAI半導体事業、FA事業の成長による企業価値向上

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.

＜お問い合わせ先＞

株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: https://www.dmprof.com/jp/ir/

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。

Copyright (C) Digital Media Professionals Inc. All Rights Reserved.